



陶磁の道

研究の半世紀

— 三上次男コレクション陶片展 —

2014年11月29日(土) — 12月8日(月)

千代田区立日比谷図書文化館 [1階 特別展示室] 会期中無休/観覧無料

開室時間: <平日> 10:00 ~ 22:00 <土曜日> 10:00 ~ 19:00 <日・祝日> 10:00 ~ 17:00 (入室は閉室時間の30分前まで)

主催: 東洋陶磁学会

共催: 千代田区立日比谷図書文化館

協力: 青山学院大学文学部史学科、出光美術館

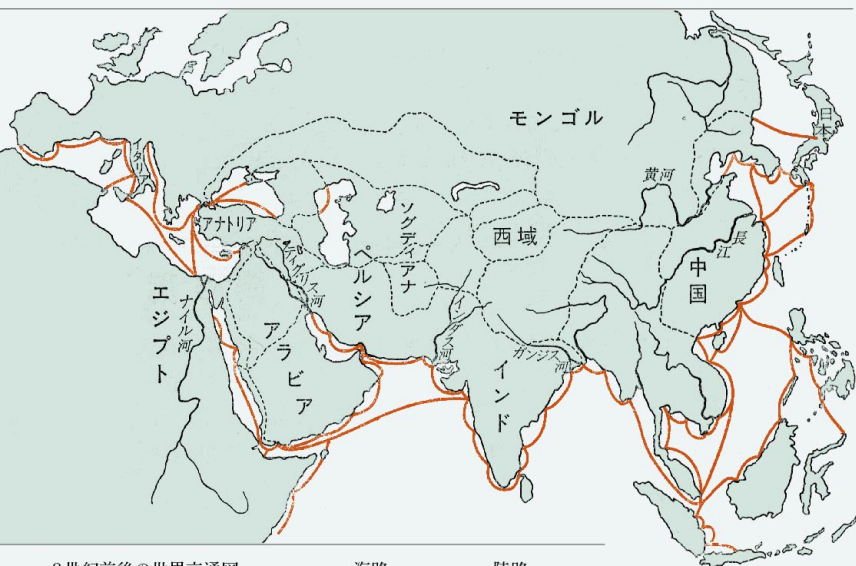
陶磁の道 研究の半世紀

——三上次男コレクション陶片展——

東から西へ、西から東へ、こうした貿易を通じての両者の結びつきが、中世における各地域の孤立を打ちやぶり、各地域に時代的共通性をもたらす一つの重要な要因になったことも争えない事実である。陶磁はその一つの象徴といえる。

いずれにせよ、中世の東西世界に渡された一本の太い陶磁のきずな。それは同時に東西文化を交流させるかけ橋でもあったが、この海の路をわたくしはしばらく「陶磁の道」と呼ぼうと思う。

「陶磁の道——東西文明の接点をたずねて」一九六九



8世紀前後の世界交通図 海路 陸路
『陶磁の道』216頁 岩波新書 1969 (一部改変)



1985年 自宅書斎にて

三上次男 みかみつぎお
明治四十年(一九〇七)京都府宮津市に生まれる。昭和七年(一九三二)東京大学文学部東洋史学科卒業。東京大学教授、青山学院大学教授、出光美術館理事、中近東文化センター理事長等を歴任。東京大学名誉教授、日本学士院会員、文学博士。昭和六十二年(一九八七)没。

故三上次男氏が、内陸の「絹の道」シルクロードに対して、海上の「陶磁の道」の研究を提唱してから、半世紀になろうとしています。この「陶磁の道」は、三上次男氏の研究の歩みであるのと同時に、その後の陶磁器研究者の指針ともなり、今も多くの研究者が陶磁器を通じた交易の歴史を追っています。

今展示では、三上次登美子夫人より青山学院大学に寄贈された貴重な陶片資料の一部を展示します。西アジア、東南アジアなど世界各地や、有田や瀬戸など日本で集められた陶片の物語、東西交流の歴史と文化の世界をお楽しみください。



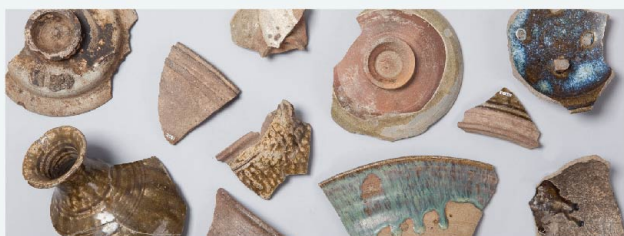
イスラム陶磁



中国陶磁



韓国陶磁



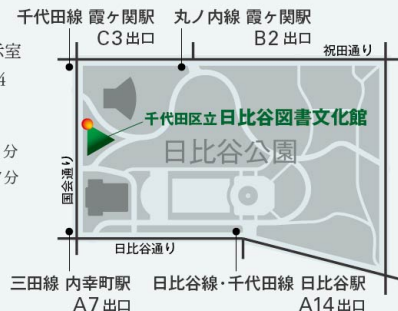
日本陶磁

【展覧会情報】

会場 千代田区立日比谷図書文化館 1階 特別展示室
〒100-0012 東京都千代田区日比谷公園1-4

交通 ・都営三田線「内幸町駅」徒歩3分
・東京メトロ丸の内線・千代田線「霞ヶ関駅」徒歩5分
・東京メトロ日比谷線・千代田線「日比谷駅」徒歩7分
・JR線「新橋駅」日比谷口徒歩10分

問合せ 千代田区立日比谷図書文化館
(施設代表 03-3502-3340)



【学会情報】 東洋陶磁学会 第42回大会「陶磁の道」研究半世紀の歩みと展望

日時 2014年12月6日(土) 13:00 ~ 17:30 (12:30開場) 12月7日(日) 10:30 ~ 16:30 (10:15開場)
会場 千代田区立日比谷図書文化館 地下1階 コンベンションホール(大ホール)
参加費 2000円
問合せ 03-3239-1277 (月~木:東洋陶磁学会) <http://homepage3.nifty.com/toyotoji/>
*東洋陶磁学会会員以外の一般の参加も若干(先着20名)受け付けます。

【連携企画】 日比谷カレッジ 第28回 江戸歴史講座「茶の湯、茶陶の伝来と「陶磁の道」

日時 2014年11月30日(日) 14:00 ~ 16:00 (13:30より受付)
会場 千代田区立日比谷図書文化館 地下1階 コンベンションホール(大ホール)
内容 講演 | 竹内順一(永青文庫)「江戸期の茶陶」
資料紹介 | 手塚直樹(青山学院大学)「三上次男先生と陶片僕」
水本和美(東京藝術大学)「有楽町一丁目遺跡と出土陶片の語る日比谷」
定員 200名(定員となり次第、締め切らせていただきます。)
参加費 1000円(千代田区民500円) ※千代田区民の方は、当日、住所の確認できるものをお持ちください。
申込み 千代田区立日比谷図書文化館(施設代表 03-3502-3340)

申込み方法 | ①から③のいずれかにて講座名、お名前(よみがな)、お電話番号をお知らせください。
①電話(03-3502-3340) ②Eメール(college@hibiyai.jp) ③ご来館(1階受付)

【連携展示】 「陶磁の道」に関する陶片の展示

期間 2014年10月25日(土) ~ 12月21日(日)
場所 出光美術館 陶片室 〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-1-1 帝劇ビル9階
内容 「仁清・乾山と京の工芸—風雅のうつわ」(入館料一般1,000円)の会期中、「陶磁の道」に関する陶片を陶片室にて展示しています。
問合せ 03-5777-8600(展覧会案内・ハローダイヤル)